

令和元年度第3回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 令和元年 7月16日(火) 16時40分～19時40分
場 所 看護学科棟1階 N102室
出席者 ■若崎委員長 ■小笹委員 ■福岡委員 □高田委員 ■大矢委員
□神田委員 □飯塚委員 ■安藤委員 ■三代委員 ■阿食委員
(■が出席, □が欠席を表す)

委員以外の出席者 申請者(井上院生)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。
- 平成31年5月開催の令和元年度第2回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 看護研究申請書の審査について

- (1) 課題名: トランスジェンダーの患者の内科外来受診における看護師の配慮とその関連要因

・・・・・・・・資料1

若崎委員長から、資料1のとおり高田院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の高田院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、微細な修正の範囲を超えており、再審査の必要があることから保留とすることとした。

- (2) 課題名: NICU から小児病棟へ転棟した患児に対する母親の愛着の変化と関連要因

・・・・・・・・資料2

若崎委員長から、資料2のとおり三代院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の三代院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、微細な修正の範囲を超えており、再審査の必要があることから保留とすることとした。

- (3) 課題名：初発肺がん患者が就労と薬物療法の両立を継続するうえでの困難と対応

・・・・・・・・資料3

小笹副委員長から、資料3のとおり飯塚院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の飯塚院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

2. 報告事項

○審査結果について

- 1) 申請者：医学系研究科看護学専攻 院生 光貞 美香

課題名：異変を感じてから診断に至るまでの前頭側頭型認知症者の配偶者の困難と対処

審査結果：承認（令和元年5月20日付け）

○審査結果について（迅速審査）

- 1) 申請者：基礎看護学講座 准教授 福間 美紀

課題名：在宅で清潔間欠的自己導尿を行っている患者の排尿管理および困りごとと看護師による支援状況との関連

審査結果：承認（令和元年6月3日付け）